

平成 3 0 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 富士市社会福祉協議会

目次

1. 概要.....	1
2. 会議開催状況.....	3
3. 事業実施状況.....	8
【広報啓発事業】	8
【地域福祉推進事業】	11
【生活支援体制整備事業】	15
【ボランティア活動育成事業】	16
【福祉相談事業】	23
【援護事業】	24
【共同募金運動】	26
【生活困窮者自立相談支援事業】	27
【貸付事業】	28
【日常生活自立支援事業】	29
【成年後見支援センター事業】	30
【法人後見事業】	31
【介護サービス事業】	32
【障害者就労支援施設・生活介護事業所の運営】	33
【社会福祉センターの運営】	35
【生きがいデイサービス事業】	35
【その他の事業】	36
【社協会費・寄附金の募集】	38

1. 概要

平成30年度は、新たに法人の基本理念と職員行動指針を定め、地域福祉推進の担い手として役職員が一丸となり、「だれもが安心してともに暮らせる地域（まち）」づくりを進めるべく各種事業に取り組んでまいりました。

第3年目を迎えた「第4次地域福祉活動計画」においては、事業の進捗状況や目標の達成状況等を確認するための中間評価を行い、執行状況を確認しました。以下、平成30年度事業計画における重点目標を中心に事業執行状況を報告いたします。

＜平成30年度の重点目標＞

1. 結婚相談縁結び支援事業（ハッピーネスF u j i）の充実
2. 市民後見人の支援・育成と法人後見等成年後見制度の着実な執行
3. 地域包括ケアシステムに有効な施策の執行とネットワークの構築
4. 生活介護事業所吉原つくしの移転新築計画の推進
5. 行政との関係強化と社協法人設立50周年記念事業の推進

1. 結婚相談縁結び支援事業（ハッピーネスF u j i）の充実

本会が、昭和49年から取り組んできました結婚相談事業ハッピーネスF u j iは、平成29年度から結婚相談縁結び支援事業ハッピーネスF u j iとして市の委託事業となったことで、相談日時や場所・体制などにおいて機能の大幅な拡充を行い、グレードアップした2年目となりました。

相談員7名の体制で相談を行い、出会いふれあいパーティーも2回開催いたしました。

平成29年から導入している「マッチング支援システム」も順調で、平成30年度末における登録者数は1,016人(前年対比183人増)、相談件数は5,425件(前年対比98件増)、引き合わせ組数は255件(前年対比45件増)といずれも増加し、成婚数は3件となりました。

2. 市民後見人の支援・育成と法人後見等成年後見制度の着実な執行

平成26年から開始した市民後見人養成研修の修了者については、第2期生の市民後見人名簿登録のための面接を行い、12名が登録し、第1期生と合わせて28名が家庭裁判所に名簿登録を済ませました。現在、市民後見人個人受任を目指して継続研修及び日常生活自立支援事業の生活支援員として研鑽を重ねています。

また、平成30年度は新たに1名が市民後見人として家庭裁判所の選任を受け、一昨年と併せて2名の市民後見人が活動中です。今後に向けては、現在の法人後見からスライドする方法の一方で、直接市民後見人に繋ぐ検討を家裁から打診されるなど社協の存在が認知された一年でもありました。

さらには、国が目指す権利擁護支援の地域ネットワークである中核機関の設置に向けた検討も行いました。

3. 地域包括ケアシステムに有効な施策の執行とネットワークの構築

平成29年度から取り組みが始まった本事業は、2025年問題に向けた地域共生社会

づくりへの取り組みのひとつとなります。社協ではこれに取り組むため、「生活支援体制整備事業生活支援コーディネーター業務」を受託し、各地域包括支援センターのコーディネーター及び地域関係機関・行政含め12名で組織された「第1層協議体」の運営を行ってきました。平成30年度は、高齢社会における各地区の地域課題等を共有するとともに、既実践されている生活課題を抱えた住民に対する助け合い・支えあい活動に焦点を当て、制度では手の届きにくいところで活動をしている支援団体やボランティアの活動を紹介するとともに、このような助け合い活動が各地区で芽生えるような普及啓発に努めました。また、制度化に向けた提言や行政各課の連携要請を協議体会議において行いました。

4. 生活介護事業所吉原つくしの移転新築計画の推進

令和元年度の完成を目指す生活介護事業所吉原つくしの移転新築計画については、社会福祉センター広見荘東隣の用地について地主との賃貸借契約の合意に至り、国・県の補助金申請を行うとともに、施設の基本設計に着手いたしました。また、地域住民の理解をいただくための説明会も実施しました。

5. 行政との関係強化と社協法人設立50周年記念事業の推進

行政からの委託事業については、年々事業数が増えており、社協に求められる役割も大きくなってきておりますが、円滑な事業遂行ができるよう、関係部課との日頃からの連携を重視し業務を進めています。さらに、平成30年度も市長・副市長との懇談会、市議会文教民生委員会との懇談会をそれぞれ実施し、社協の現状をお伝えするとともに行政・市議会との関係強化を図りました。

また、令和2年に迎える社協法人設立50周年に向けては、記念事業等の内容を検討するための実行委員会を10月に立ち上げ準備を進めました。

その他、重点目標以外については、市より平成26年度から平成30年度までの指定管理の指定を受けていた社会福祉センターについて、次期の指定管理を受けるべくプレゼンテーションに臨み、自主事業の充実や交通弱者対策などの新たな提案を行うことで、令和元年度から5年間の指定管理の指定を受けることが出来ました。

また、全国的に広がりを見せている「こども食堂」に関しては、新たに社協独自の補助金制度を立ち上げ、生活困窮家庭の子どもに対しての食の支援や地域での居場所づくりをバックアップしています。

次に、予想される大規模災害に備えては、迅速で適切な事業対応を目指して各事業所ごとのBCP（事業継続計画）策定に着手し、令和元年度中の完成を目指しています。

また、目標をもって業務にあたることで、職員の主体的な職務遂行や自己啓発を促し、人材の育成と組織の活性化を図ることを目的に、人事評価制度に取り組みました。これについては、次年度の本格導入を目指しております。

さらに、介護サービス事業においては、機能訓練の充実や職員配置の検討を行うことでサービスの向上と運営の適正化を図りました。

以上、平成30年度は、限られた財源の中で効率的な事業執行に努め、概ね順調な事業執行となりました。

2. 会議開催状況

1. 理事会

	場 所	会 議 事 項
第 1 回 30. 4. 11	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第 1 号 常務理事の選定について 議第 2 号 評議員選任委員の選任について
第 2 回 30. 6. 4	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第 3 号 平成 2 9 年度事業報告について 議第 4 号 平成 2 9 年度決算について (監事監査報告について) 議第 5 号 平成 3 0 年度補正予算について (第 1 号) 議第 6 号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更の承認について 議第 7 号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会介護サービス室組織規程の一部を改正する規程の制定について 議第 8 号 役員選任候補者の推薦について 議第 9 号 定時評議員会の招集について ○吉原つくし生活介護移転建設について ○こども食堂への補助事業について ○社会福祉協議会会費依頼について
第 3 回 30. 8. 24	フィナンセ東館 ボランティアルーム	報第 1 号 会長及び常務理事職務執行状況報告 議第10号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について 議第11号 平成 3 0 年度富士市社会福祉協議会会長表彰及び感謝状贈呈候補者について 議第12号 評議員選任候補者の推薦について 議第13号 評議員選任委員会の招集について ○富士市社会福祉協議会法人設立 5 0 周年記念事業について ○市民活動団体“はじめの一步”助成金審査委員について ○成年後見等審査委員について ○吉原つくし生活介護移転建設計画の進捗状況について

	場 所	会 議 事 項
第 4 回 30. 11. 29	フィレンセ東館 ボランティアルーム	○平成30年度敬老会について ○7月豪雨災害に係る被災地支援について ○社会福祉協議会会費収納状況について（中間報告） ○平成29年度苦情概要について ○第38回市民福祉まつりについて 報第2号 平成30年度上半期事業会計監査実施報告 議第14号 平成30年度補正予算について（第2号） 議第15号 評議員会の招集について ○平成30年度歳末たすけあい運動について ○次年度の地区福祉推進会助成について ○第4次富士市社会福祉協議会地域福祉活動計画中間評価 ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について（中間報告） ○吉原つくし生活介護移転建設計画の進捗状況について ○次年度のふれあい・いきいきサロンについて ○市民活動団体“はじめの一步”助成事業について ○市民福祉まつり、社会福祉大会の報告について
第 5 回 31. 1. 25	フィレンセ東館 ボランティアルーム	報第3号 会長及び常務理事職務執行状況報告 ○会長の役員報酬について ○平成31年度からの社会福祉センター指定管理について ○赤い羽根共同募金収納状況について ○歳末たすけあい運動募金収納状況及び配分結果について
第 6 回 31. 3. 19	フィレンセ東館 ボランティアルーム	報第4号 専決処分の承認を求めることについて （社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を 改正する規程の制定） 議第16号 平成30年度補正予算について（第3号） 議第17号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会役員報酬及 び旅費等支給規程の一部を改正する規程の制定に ついて 議第18号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員旅費規 程の一部を改正する規程の制定について

	場 所	会 議 事 項
		議第19号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定について 議第20号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則の制定について 議第21号 平成31年度事業計画について 議第22号 平成31年度予算について 議第23号 評議員会の招集について ○補助団体へのヒアリングについて ○吉原つくし生活介護移転建設計画の進捗状況について

2. 評議員会

	場 所	会 議 事 項
定時 (第1回) 30. 6. 21	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第1号 平成29年度事業報告について 議第2号 平成29年度決算について (監事監査報告について) 議第3号 平成30年度補正予算について (第1号) 議第4号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会定款変更について 議第5号 役員の選任について ○吉原つくし生活介護移転建設について ○こども食堂への補助事業について ○社会福祉協議会会費依頼について
第2回 30. 12. 14	フィナンセ東館 ボランティアルーム	報第1号 平成30年度上半期事業会計監査実施報告 議第6号 平成30年度補正予算について (第2号) ○吉原つくし生活介護移転建設計画の進捗状況について ○第4次富士市社会福祉協議会地域福祉活動計画中間評価 ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について (中間報告) ○平成30年度歳末たすけあい運動について ○平成31年度の地区福祉推進会助成について ○平成31年度のふれあい・いきいきサロンについて ○市民福祉まつり、社会福祉大会の報告について

	場 所	会 議 事 項
第3回 31. 3. 27	フィナンセ東館 ボランティアルーム	議第7号 平成30年度補正予算について（第3号） 議第8号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会役員報酬及び旅費等支給規程の一部を改正する規程の制定について 議第9号 平成31年度事業計画について 議第10号 平成31年度予算について ○補助団体へのヒアリングについて ○吉原つくし生活介護移転建設計画の進捗状況について

3. 評議員選任委員会

	場 所	会 議 事 項
30. 9. 19	フィナンセ東館 介護相談室	議第1号 評議員の選任について

4. 監 査

	場 所	会 議 事 項
30. 5. 25	フィナンセ東館 社協相談室	○平成29年度決算 事業会計監査
30. 11. 12	フィナンセ東館 社協相談室	○平成30年度上半期 事業会計監査

5. 共同募金委員会

	場 所	会 議 事 項
30. 8. 24	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○平成30年度赤い羽根募金実施計画について ○平成30年度歳末たすけあい運動実施計画について ○街頭募金について

6. 苦情解決第三者委員会

	場 所	会 議 事 項
30. 8. 20	フィナンセ東館 社協相談室	○平成30年度苦情解決体制について ○平成29年度の苦情等の事例報告

7. 正副会長会

	場 所	会 議 事 項
第 1 回 30. 5. 30	フィナンセ東館 社協相談室	○第 2 回理事会について ○ 6 月以降の会議日程について
第 2 回 30. 8. 21	フィナンセ東館 介護相談室	○第 3 回理事会及び共同募金委員会について ○ 8 月以降の会議日程について
第 3 回 30. 11. 26	フィナンセ東館 社協相談室	○第 4 回理事会について ○ 1 1 月以降の会議日程について
第 4 回 31. 1. 22	フィナンセ東館 介護相談室	○第 5 回理事会について ○ 1 月以降の会議日程について
第 5 回 31. 3. 14	フィナンセ東館 社協相談室	○第 6 回理事会について ○共同生活援助について ○ 3 月以降の会議日程について

3. 事業実施状況

【広報啓発事業】

(1) 富士市社会福祉大会

社会福祉関係者の表彰及び記念講演をロゼシアターで開催した。

- ・開催日 11月21日(水)
- ・開催場所 ロゼシアター 中ホール
- ・参加人員 約600人
- ・内容 表彰式 被表彰対象者 36人
- ・活動発表 富士市ユニバーサル就労パイロット事業所
発表者 ①㈱コーチャー／渡邊佳那子さん
②富士センコー運輸㈱／小野 透さん
- ・講演 「人を幸せにする会社 誰でも働ける社会」
講師 経営学者・元法政大学大学院教授
坂本光司さん



福祉大会 表彰式



福祉大会 講演

(2) 社協の広報活動

市民に広く社協への理解をいただくため、また、事業等で社協を活用していただくため、全戸に広報紙「お元気ですか」を配布すると共に、ウェブサイトの充実を図り、さらに市内のコミュニティーエフエム（ラジオエフ）の放送に社協役職員・ボランティア・モニターが出演、また、社協への寄附や事業実施時等に報道メディアへの情報提供を積極的に実施するなど、様々な広報啓発活動を行った。

①広報紙『お元気ですか』の発行

会員である市民に対し、読みやすく分かりやすい福祉情報を発信すると共に、社協への理解を高めるために年4回発行した。

- ・ 6 / 2 0 号 こども食堂 他
- ・ 9 / 2 0 号 社協の相談窓口 他
- ・ 新 年 号 ふれあい・いきいきサロン 他
- ・ 3 / 2 0 号 障害者就労支援施設 他

広告協賛企業（敬称略）

ロゼ にじいろクリニック（医療法人財団新六会）	4 回
小松クリニック（医療法人社団青葉会）	4 回

②ラジオエフの活用

月 1 回（最終水曜日）放送の「はあとふるトーク」に役職員、地域住民、ボランティア等が年間 1 2 回出演し、社協事業の P R に努めた。また、災害時の連携を視野に入れた防災パートナーズスポット CM を毎月 1 回実施。その他、随時社協事業の広報媒体として協力を求め活用をした。

③ウェブサイトの充実

I C T（情報伝達技術）時代に応じた見やすいサイトを追求し、市民にわかりやすい福祉情報の発信に努めた。また、速報性の高い情報に関しては随時更新を行った。

④報道メディアへの情報提供を通じた事業等の周知

報道メディアに社協や福祉推進会等の事業及び社協への寄附等の情報を積極的に提供し、紙面や報道を通じて事業等の周知を行った。

（３）社協モニター制度

社協事業に対して市民各層の意見や要望を把握するとともに、社協の啓発を行い、事業の充実強化を図ることを目的にモニターを 2 年間委嘱し、会議への出席やモニター通信で意見の提言をお願いした。なお、社協モニター制度は今期をもって会議式の方法は終了とした。

・モニター会議

第 1 回モニター会議	生活困窮者支援事業について
第 2 回モニター会議	ボランティア活動について
第 3 回モニター会議	成年後見支援事業について
第 4 回モニター会議	2 年間の振り返り・今後の社協について

・モニター通信受付状況 4 0 通

(4) 市民活動団体“はじめての一步”助成金

市民活動を始めようとする団体に対し、その設立等に係る経費の支援を行うことにより、福祉・文化・教育等の向上を図ることを目的に助成を行った。なお、本事業は県社協や市の制度の充実により、本年度をもって終了とした。

・助成団体

おやこそだちの会	100,000円
はつらっクラブ	100,000円
J．B．G Oご近所さんの運動教室	46,000円
シニア&子どもカフェ”遊”	100,000円
親子サークル ローズマリー	89,892円
助成額 合計	435,892円

(5) 第38回市民福祉まっりの開催

ノーマライゼーションの理念に基づき、あらゆる人が気軽に心地よくふれあう場を創出し、福祉への理解を深め、共に生きるまちづくりをすすめることを目的に開催した。当会は、このまっりの実行委員会の事務局を担っている。

テーマ：であい ふれあい わかちあい ～来て 見て 遊んで 参加して！～

- ・日 時 10月21日（日） 午前9時30分～午後3時00分
- ・場 所 中央公園西側イベント広場
- ・内 容
 - ステージ部門 福祉施設などの音楽、劇、ダンスの披露
 - 福祉部門 障がいの理解を深める福祉体験と来場者サポート
 - バザー部門 福祉施設や各種団体による模擬店及びバザー
 - 子ども部門 ゲーム、紙芝居などで、みんなで楽しくふれあう場
 - 啓発部門 介護関連商品の展示及び体験など福祉情報の発信
 - 総務部門 まっり本部運営や駐車場、交通案内、警備等の連絡調整
- ・主 催 市民福祉まっり実行委員会



福祉まっり ステージ発表



福祉まっり 福祉部門

【地域福祉推進事業】

(1) 地区福祉推進会

①地区福祉推進会の活動支援

「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、市内26地区の「地区福祉推進会」ごと担当職員を配置し、その地区に必要な資源開発・育成を行い、支え合い助け合いのまちづくりを地域住民の皆さんと共に実施した。

各地区活動状況

地区名	発足年度	主 な 事 業		
富 士 南	昭 和 6 3 年	地 域 見 守 り 活 動	学 校 行 事 へ の 協 力	高 齢 者 お 楽 し み 会
富士見台	平 成 元 年	ぼらんていあスクール	ふ る さ と 伝 承	ふ れ あ い 交 流 会
今 泉	〃	高 齢 者 見 守 り 活 動	中 学 生 福 祉 体 験	顔 の 見 え る 関 係 づ く り
吉 永	〃	ひ と こ え 会	愛 の 家 庭 訪 問	ふ れ あ い 歌 声 喫 茶
天 間	平 成 2 年	ふ れ あ い 昼 食 会	住 民 福 祉 講 座	七 五 三 奉 納 相 撲 大 会
須 津	平 成 3 年	ふ れ あ い 夕 食 サ ー ビ ス	ホ ッ ト ひ と い き 広 場	ふ れ あ い 昼 食 会
岩 松	平 成 4 年	高 齢 者 等 支 援 事 業	か り が ね ま つ り	サ ロ ン へ の 支 援 活 動
富士駅南	平 成 6 年	福 祉 フ ェ ス テ ィ バ ル	住 民 福 祉 ネ ッ ト ワ ー ク	ボ ラ ン テ ィ ア サ ポ ー ト
丘	平 成 7 年	七 夕 ま つ り	高 齢 者 お せ ち 配 食	福 祉 講 座
浮 島	平 成 8 年	ふ れ あ い 交 流 会	ふ れ あ い 昼 食 会	愛 の 声 か け 訪 問
原 田	〃	バ ン ク 仕 事 体 験	ふ れ あ い 配 食	サ ロ ン 交 流 会
元 吉 原	平 成 9 年	ふ れ あ い 配 食	親 子 ふ れ あ い 交 流 事 業	ふ れ あ い 昼 食 会
鷹 岡	平 成 1 0 年	三 世 代 交 流 会	ふ れ あ い 昼 食 会	福 祉 講 演 会
伝 法	〃	中 学 生 福 祉 体 験	ふ れ あ い 交 流 会	ふ れ あ い 配 食
富士駅北	〃	ふ れ あ い の 集 い	障 が い 者 と の 交 流 事 業	福 祉 講 演 会
吉 原	平 成 1 2 年	ふ れ あ い 昼 食 会	ふ れ あ い 交 流 会	絵 手 紙 慰 問
田 子 浦	〃	ふ れ あ い 配 食	住 民 福 祉 講 座	ふ れ あ い 昼 食 会
岩 松 北	平 成 1 3 年	梅 ま つ り 福 祉 バ ス 運 行	ふ れ あ い 昼 食 会	放 課 後 子 ど も 教 室
青 葉 台	〃	防 災 グ ッ ズ 配 布	う た ご え サ ロ ン つ ぼ み	ク リ ー ン & ウ オ ッ チ ャ ー
神 戸	〃	ふ れ あ い 交 流	ホ ッ と も っ と 広 場	神 戸 福 祉 寄 席
広 見	平 成 1 4 年	福 祉 フ ェ ス テ ィ バ ル	サ ロ ン 交 流 会	ふ れ あ い 昼 食 会
吉 永 北	平 成 1 5 年	ふ れ あ い 配 食	ふ れ あ い 訪 問	昔 あ そ び 体 験
富 士 北	平 成 1 6 年	こ え か け ネ ッ ト	ふ れ あ い 配 食 会	福 祉 講 演 会
大 淵	〃	こ え か け 運 動	あ い さ つ 運 動	ふ れ あ い 配 食
富 士 川	平 成 2 1 年	福 祉 委 員 研 修 会	サ ロ ン へ の 支 援	セ キ ュ リ テ ィ シ ス テ ム
松 野	〃	福 祉 委 員 研 修 会	男 の 料 理 教 室	健 康 運 動 推 進 講 座



広見福祉フェスティバル高齢者体験



吉永北地区小学生との配食訪問

②地区福祉推進会連絡会の活動支援

各地区福祉推進会の事業活性化のために情報交換を行った。

また、これまで市内を6ブロックに分けて情報交換等を行ってきたが、地域包括ケア体制の構築に向け、地域包括支援センターの活動圏域に合わせて8ブロックに再編した。それぞれの地区の課題や今後取り組んでいきたいテーマをもとに、会議・研修会等を行った。

<正副会長会議>

- | | |
|----------|---|
| 5月15日(火) | 平成30年度の事業・研修会について |
| 8月1日(水) | 地域包括ケア体制の構築に向けた活動について |
| 9月28日(金) | 生活支援のあり方について
運営費・活動費の見直しについて |
| 11月8日(木) | 運営費・活動費の見直しについて
ふれあい・いきいきサロンへの支援について |

<会長会議>

- | | |
|----------|-------------------|
| 1月17日(木) | 運営費・活動費の見直しについて説明 |
|----------|-------------------|

<全体事業>

- | | |
|----------|---|
| 6月12日(火) | 富士市地区福祉推進会連絡会
事業報告及び事業計画
実践報告「住民福祉ネットワーク活動と
支え合いマップ」
富士駅南地区福祉推進会 稲葉久利会長 |
| 3月4日(月) | 生活支援体制整備事業講演会に参加 |

③見守り・生活支援活動の実施（小地域福祉ネットワーク事業）

各地区及び各地域の中で、要援護者に対し見守り活動を展開し、安否を確認した。

- ＜富士南地区＞ 小中学生を見守る毎日の防犯パトロールを実施
- ＜吉永地区＞ 近隣の方（ひとこえ会）が日常的な安否確認を実施
- ＜岩松地区＞ 近隣の方（みまもり隊）が日常的なこえかけを実施
- ＜富士駅南地区＞ 住民福祉ネットワークで高齢者宅を誕生月等に訪問
「地域支え合いマップ」の作成
- ＜富士駅北地区＞ 近隣の方（見守り協力者）が日常的な安否確認を実施
- ＜富士北地区＞ 近隣の方（こえかけボランティア）が日常的なこえかけを実施
- ＜大淵地区＞ 回覧版を手渡しで行い、安否確認を実施
生活上の困りごと対応 「城山町お助け隊」支援
- ＜原田地区＞ 地区民生委員と推進会委員で見守りが必要な世帯に
年1回訪問。その後は、推進会委員による見守りを実施。
地区定例会ごとに状況報告を行っている。

（２）ふれあい・いきいきサロンの推進

ふれあい・いきいきサロンは、日常生活の基盤である地域社会において、高齢者や障がい者の孤独感等の解消並びに介護予防を目的とした組織。ふれあい・いきいきサロンを地域住民が自主的・自発的に取り組み、地域にとけ込んだふれあいと見守りの場となりえるよう支援した。

- ・対 象 家に閉じこもりがちな高齢者・障がい者等
- ・利用料 無料
- ・開設数 172カ所 （3月31日現在）
- ・サロンボランティア研修会

市内全サロンを対象とし、講師に「株式会社エイワンススポーツプラザ健康運動指導士 田中礼人」氏を招き、持ち帰って実践できる軽運動に関するサロンボランティア育成研修を行った。

- 開催日 9月26日（水）
- 場 所 フィランセ
- 参加者 72人

【地域福祉活動計画による平成30年度の主な取組目標】

- ①サロン開設数 190ヶ所
- ②モデル地区への支援 2ヶ所

【実績】

①サロン開設数 172ヶ所

②モデル地区への支援 2ヶ所（吉原・元吉原）

町内会連合会の定例会へ訪問し、活動状況報告と共に、サロンについての事業説明と立ち上げに向けての情報提供を行った。

（３）こども食堂への補助

子どもたちが放課後等に食事や学習、地域交流を通じて安心して過ごせる居場所であるこども食堂への助成を行い、子どもを孤立させない地域づくりを支援した。

・助成先 2件 こども食堂富士見台

NPO法人ゆめ・まち・ねっと 0円食堂

（４）さわやかコール事業

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的に、民生委員児童委員を通じて申し込みをおこない、委託先であるヤクルトの方がひと声かけながら乳酸菌飲料を宅配するサービスを実施。声かけ時に応答がないなど安否が確認できなかった際には、担当の民生委員児童委員や緊急連絡先等に確認をしたほか、必要に応じて職員が訪問し安否確認を行った。

・委託先 中央静岡ヤクルト販売㈱

・訪問日 週3回が基本

【地域福祉活動計画による平成30年度の主な取組目標】

①利用者数（月平均） 490名

②関係機関との連携強化

【実績】

①利用者数（月平均） 466名

②包括支援センターと民生委員の連携によって新規申請に至ったケースが7件。

ヤクルトと民生委員間での見守り情報共有も密に行われ、利用者の状況に合わせた変更連絡も円滑に行われている。

（５）地域活動団体への助成

・地域福祉活動費（町内会）	2,596,200円
・民生委員児童委員活動実費弁償費	429,000円
・民生委員児童委員協議会活動費助成	300,000円
・女性ネットワーク富士活動費助成	100,000円
・人権擁護委員会助成	70,000円

(6) 地域福祉活動計画の進捗評価

第4次地域福祉活動計画について、全ての事業に渡り、平成29年度までの中間検証を実施した。第5次地域福祉活動計画への反映も視野に入れながら、引き続き評価検証を行う。

【生活支援体制整備事業】

(1) 第1層生活支援コーディネーター業務の推進

生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的に、富士市より ※第1層コーディネーター業務を受託し、市全域で支え合い・助け合い活動が広がるよう基盤整備と関係機関ネットワークの構築などを行った。また、生活支援体制の深化のため、市民向け講演会を開催した。

- ・第1層協議体会議

- 6月26日（火） 生活支援アンケート結果の分析

- 9月27日（木） 富士見台地区からの課題提起とグループワーク

- 1月24日（木） 課題提起に対する行政各課の回答

- ・生活支援コーディネーター連絡会

- 6月18日（月） 各地区の活動報告、第1層協議体議題について

- 9月21日（金） //

- 3月26日（火） 講演会アンケート分析、各地区の活動報告

- ・生活支援体制整備事業シンポジウムの開催

- 3月 4日（月） 基調講演「あるもの探しから始まる地域づくり」

- 講師 東北福祉大学 高橋誠一 教授

- 参加者 174名

※第1層生活支援コーディネーターとは、富士市域全域の福祉活動団体を組織化し、支援を必要としている人への働きかけや、助け合い組織立ち上げ支援、行政への働きかけ、施策提言をおこなう人

(2) 地域包括ケア体制の構築に向けた地域支援

生活支援・介護予防に関する地域支援や地域住民主体の支え合い・助け合いがあふれるまちづくりのため、※第2層生活支援コーディネーターと一緒に各地区担当職員も地域資源の育成・活動支援を行った。

- ・各地区地域ケア会議、個別ケア会議への参加

※第2層生活支援コーディネーターとは、小学校区を単位として、生活支援のニーズ把握や社会資源の把握、サービスの開発を地域住民と共におこなう人

【ボランティア活動育成事業】

（１）ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンター利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開館日	27	27	29	29	26	29	27	25	26	26	26	30	330	331
利用者数	528	327	540	439	412	596	346	729	462	442	344	328	5,493	6,515
1日平均	19.6	12.1	18.6	15.1	15.8	20.5	12.8	29.1	17.7	17.0	13.2	10.9	16.6	19.7

①ボランティアのニーズ調整

・ボランティア対応 222件（延べ 720人）

【地域福祉活動計画による平成30年度の主な取組目標】

①相談件数 250件

【実績】

①相談件数 354件

内訳 ボランティア活動希望 57件

ボランティア依頼 297件

②ボランティア保険

・加入者数 3,380人

・事故対応 8件

③富士市ボランティア連絡会

連絡会は、加入しているボランティアグループで組織し、情報交換をはじめ、ボランティアに関する研修を実施した。

・毎月第1金曜日 定例会開催

・加入団体 41団体 524人

【地域福祉活動計画による平成30年度の主な取組目標】

①登録団体 50団体

【実績】

①登録団体 41団体

④ボランティア団体への助成

・ボランティア連絡会助成 300,000円

・災害ボランティア連絡会助成 200,000円

(2) 車いす移送車両運行事業

①移動支援

車いす使用者の通院・リハビリ等にリフト付ワゴン車で送迎を行うサービスを実施した。

・利用件数	282件
・走行距離	12,588km
・利用登録者数	32人
・移送ボランティア登録者数	42人
・延べ活動者数	902人

②車いす移送車両貸出

車いす使用者に対して、移送車両を貸出し、社会参加の促進を図った。

・貸出件数	102件
-------	------

③運転ボランティア研修会

車いす移送車両運行事業の説明及び交通安全講習、また、ボランティア間の交流を深める目的で研修会を開催した。

・開催日	6月23日(土)、30日(土) (全2回)
	9:00～12:00
・内 容	中央自動車学校協力による、運転指導・誘導方法の講習
・参加者	17人(新規参加者9人・移送ボランティア登録者4人・ 障害サービス室職員4人)

(3) 企業の地域貢献・社会貢献活動への協力

富士市内外の事業所による地域貢献・社会貢献活動の推進に対して連携及び協力を図るため、今後の活動や連携についての協議を行った。

・対象企業及び事業所	10社
------------	-----

【地域福祉活動による平成30年度の主な取組目標】

①支援企業	2社
-------	----

【実績】

①支援企業	10社
-------	-----

(4) ふじおもちゃ図書館の運営

ハンディキャップのあるなしにかかわらず、おもちゃを通しての交流の場として開館した。

- ・開館日 火・木・土曜日 10:00～12:00
日曜日 10:00～12:00
13:00～15:00
- ・協力団体 ふじおもちゃ図書館ボランティア 37人
- ・会場 ふじおもちゃ図書館（富士市フィランセ東館4階）

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年同期
利用者数	285	295	401	412	414	407	379	395	147	328	345	384	4,192	4,589

<貸館>

ふじおもちゃ図書館閉館時に、障がい児（者）及び団体に託児や交流のスペースとして貸し館を行った。

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年同期
利用者数	293	170	185	201	276	128	240	168	320	229	261	417	2,888	3,200

(5) 富士市災害ボランティア連絡会

災害時におけるボランティア活動がスムーズに行えることを目的に、災害ボランティア連絡会を組織し、定例会での情報交換をはじめ研修や災害ボランティア支援本部開設訓練等を実施した。

- ・加入団体 11団体
 - 富士市災害救援バイク隊『ペガサス』
 - 富士市アマチュア無線非常通信協力会
 - 災害ボランティアコーディネーター富士
 - 静岡県市町村職員年金者連盟富士市支部
 - 富士市ボランティア連絡会
 - 静岡県看護協会富士地区支部
 - 富士R B
 - 富士市まとい会
 - 家具やしめ隊
 - 富士市赤十字奉仕団
 - 常葉大学ハルジオン

・災害ボランティア支援本部開設訓練

開催日 1月19日(土) 13:00～15:30(準備訓練)

20日(日) 7:30～12:00

(ボランティア受入訓練 他)

場 所 富士市フィランセ、富士市富士川ふれあいホール 他

内 容 災害時を想定したボランティア受入訓練、防災用品の展示 他

参加者 315名

(6) 家具固定ボランティア講座

家具固定に必要な知識を学ぶとともに、ひとり暮らし高齢者など自分では家具の固定ができない方々への支援を目的に講座を開催した。

・開催日 3月9日(土)

9:00～14:00

・内 容 家具固定の必要性、家具固定方法の講義と実技

・参加者 15人

(7) 音訳ボランティア養成講座

視覚障がい者の情報手段の拡充や自立と社会参加の支援をするための音訳に携わるボランティアのスキルアップを図るための講座を開催した。

・開催日 1月23日(水)、30日(水)

2月 6日(水)、13日(水)、27日(水) (全5回)

・内 容 既に活動中の音訳ボランティアが音訳基礎技術を再確認し、活動の幅を広げるための実技、リスナーとの懇談を通して現状把握や課題解決を図る。

・参加者 9人

(8) 声の広報事業

ボランティアグループの協力により、月2回発行される「広報ふじ」や「警察だより」「市議会だより」等をCD及びテープに吹き込み視覚障がい者に情報提供した。

・利用者 27人

・協力団体 5団体(やまびこ5月号・20月号、すみれ、C3PO、秋桜)

(9) 託児ボランティア養成講座

託児ボランティアの基礎的なことや子どもたちとの楽しい遊び方、子どもの障がいや発達についての基本を学ぶ講座を開催した。

- ・開催日 9月5日（水）、12日（水）（全2回）
10:00～12:00
- ・内 容 子どもとの接し方や遊び方、託児ボランティアとの交流会、託児ボランティアの必要性、ボランティア活動について、託児ニーズの紹介
- ・参加者 25人

(10) 回想法ボランティア講座

様々な日常生活の道具などを題材に過去を語ることで、精神が安定し認知機能の改善が見込まれ、また三世代交流の良い材料ともなる回想法についてのボランティア講座を開催した。

- ・開催日 6月6日（水）、13日（水）、20日（水）（全3回）
10:00～12:00
- ・内 容 回想法講座
講師 回想法を学ぶ会 代表 川江妙子 氏
- ・参加者 25人



託児ボランティア養成講座



回想法ボランティア講座

(11) 福祉教育の推進

①福祉人材育成事業

これからの福祉事業に携わる人材の定着及び確保を目指し、広く福祉に関する啓発を行うための福祉人材育成事業に取り組んだ。

＜実行委員会＞

- ・内 容 本会と市内の各関係機関との連携及び協働による事業計画立案のための実行委員会を設置し、実施内容の検討を行った。
- ・開催日 6月13日（水）、7月24日（火）、10月30日（火）、1月22日（火）（全4回）
- ・委員数 8人

＜研修会＞

- ・開催日 12月17日（月） 13：30～16：00
- ・会 場 富士市フィランセ西館4階大ホール
- ・内 容 講義「人材が定着するための職場環境の作り方とOJTプログラム」 及び グループワーク「承認カード体感ワーク」
- ・講 師 ふくしえん社労士事務所 代表 後藤功太 氏
- ・対象者 社会福祉施設等の職員
- ・参加者 66人

②夏休み福祉なんでも学習

夏休みの自由研究の課題や福祉全般についての学習のヒントとなる体験型学習会を開催した。

- ・開催日 8月4日（土） 9：00～12：00
- ・会 場 富士市フィランセ東館
- ・内 容 福祉・ボランティアに関する資料提供や疑似体験
- ・参加者 184人（来場者 123人 ボランティア 61人）

③富士市福祉教育担当者連絡会の開催

社協から提供できるプログラム等の紹介や、いかに地域と連携し、福祉の総合学習を通してどのような学びを得られたのかを共有し合い、各校における福祉教育の推進に資することを目的に連絡会を開催した。

- ・開催日 7月2日（月） 15：00～16：40
- ・内 容 講演「地域共生社会と福祉教育」及び 意見交換
- ・講 師 静岡福祉大学 福祉心理学科 准教授 渡邊英勝 氏
- ・対象者 市内各小学校・中学校の福祉教育・ボランティア学習担当教諭等
- ・参加者 23人

④福祉体験（車いす、アイマスク等）や福祉講話の実施

福祉教育を積極的に推進するため、学校単位・クラス単位等において、体験学習や福祉に関する講話・相談等を行った。

- ・ 6 件 市内小中学校・高校等にて

⑤福祉体験機材の貸出

福祉の心を育むための体験用として疑似体験機材を貸し出した。

	車いす	アイマスク	白杖	シニア	右マヒ	点字盤	ボッチャ	触感体験
個数	1 7 2	1 7 3	1 6 5	1 9 8	4 3	1 0 7	1 6	1 8
回数	2 5	2 8	2 8	3 1	5	9	1 6	1 2

内訳	学 校	1 7
	地 区	3 3
	施 設	1 6
	その他	1 4

⑥富士市教育委員会初任者研修への協力

富士市教育委員会主催による平成30年度新規採用教員を対象とした「福祉体験講座」において講師及び体験指導を行った。

- ・ 開催日 1 日目 1 1 月 1 日（木） 9：00～16：10
 2 日目 1 1 月 8 日（木） 9：30～16：20
- ・ 内 容 福祉講話、車いす体験、アイマスク体験、グループ協議及び発表
- ・ 参加者 4 5 人

⑦福祉図書コーナーの運営

フィランセ東館3階市民交流フロアに福祉図書コーナーを置き、図書等の貸出を行った。

- ・ 図書等の貸出

福祉図書	1 9 冊	ビデオ・DVD	4 0 件
カセット・CD	7 件		
- ・ 貸出利用券新規発行者数 9 人

【福祉相談事業】

（１）結婚相談

7名の相談員が毎週水曜日及び毎月第1・3土曜日、第2・第4日曜日に育児研修室において結婚に関する相談に応じた。

・相談件数 5, 425件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開催日数	8	8	7	9	9	6	9	8	7	5	8	8	92	92
相談件数	477	515	399	537	522	423	608	446	380	284	419	415	5,425	5,327

・登録者数 1, 016人（前年833人）

・引き合わせ組数 255組（前年210組）

・引き合わせ成立組数 127組（前年95組）

・結婚成立件数 3組（前年9組）

・特設相談状況

「出会いふれあいパーティー」 2回開催 64人 参加

（２）福祉相談室の運営

フィナンセ東館1階に就労総合支援センターが開設されたことに伴い、従来の福祉相談事業と併せた総合的なサービスを市民に提供するため、相談員1名を配置。月曜日から金曜日まで、福祉・生活に関わる初期相談に応じ、直接来所できない方のために電話相談（64-3294）を行った。さらに専門的な相談に対しては関係機関と連携を密にしながら対応した。

<相談状況>

相談件数 865件

<内訳> 来所相談 125件

電話相談 740件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	75	101	75	74	93	60	77	56	67	61	50	76	865	986

相 談 内 容	件 数	前 年
福祉制度等の利用相談	0	1
福祉サービス等の利用相談	7	14
自立生活についての相談	51	71
家庭生活についての相談	93	119
教育に関する相談	4	2
就労に関する相談	40	27
医療・健康に関する相談	24	39
虐待に関する相談	4	10
その他	669	749
合 計	892	1,032

※重複回答あり

【援護事業】

（１）罹災世帯援護事業

火災に遭われた罹災世帯に対し見舞い金を支給した。

・全焼	1件	30,000円
・半焼	2件	40,000円

（２）緊急一時援護事業

低所得世帯等で、緊急に援助を要する世帯に対し、世帯の自立更生に繋がるよう5万円を限度に援護を行った。

・生活援護	4件	102,000円
-------	----	----------

（３）児童援護事業

・低所得世帯小中学校入学支度費支給	2,026,000円
・低所得世帯小中学校修学旅行支度費支給	2,630,000円
・児童遊び場設置費助成	457,000円

<児童福祉団体への助成>

・子ども会世話人連絡協議会助成	300,000円
・里親会助成	50,000円
・静岡県児童福祉施設球技大会助成	30,000円

(4) 障害者援護事業

①福祉機器リサイクル事業

高齢者などの在宅生活の支援、社会参加の促進、家庭介護の軽減を図ることを目的に、不用となった福祉機器を無償で提供していただける方と譲り受けた方とのリサイクル情報の橋渡しを行った。

- ・対 象 不用になった福祉機器を譲りたい方
お年寄りなどで福祉機器を必要とする方
- ・費 用 無料（運搬・修理に関する費用は譲り受ける方が負担）
- ・物 品 福祉機器・介護用品（直接身体に触れる物品は未使用のもの）
- ・実 績 譲ります情報 24件 求めます情報 23件
成立状況 24件

②車いす短期貸出事業

病気やケガ及び旅行等、短期間（2週間）車いすを必要とする方へ貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
貸出件数	15	27	21	27	26	18	22	34	19	30	14	21	274	188

③障がい者福祉団体への助成

- ・手をつなぐ育成会運営助成 300,000円
- ・身体障害者福祉会運営助成 200,000円
- ・視覚障害者福祉会運営助成 50,000円
- ・聴覚障害者協会運営助成 50,000円
- ・福祉団体スポーツレクリエーション大会助成 30,000円

(5) 高齢者援護事業

①敬老会への助成

- ・敬老会助成 一人あたり180円 対象人数 29,787人
5,361,660円

②家族介護者交流事業

在宅において、寝たきり高齢者や認知症高齢者を介護している方々の親睦を図るとともに、日頃の介護の疲れを癒すことを目的に開催した。

<介護おしゃべりカフェ>

第1回 9月29日(土)

「介護アロマの上手な活用術」 参加者23名

第2回 10月27日(土)

「くつろぎのコンサート～マリンバで感じる秋の音～」 参加者28名

第3回 11月25日(日)

「大ヒット！ハーバリウム作り体験」 参加者25名

第4回 1月27日(日)

「80歳までスキップ！マッサージ体験教室」 参加者24名

(計4事業)

③高齢者福祉団体への助成

・悠容クラブ連合会助成	200,000円
・認知症の人と家族の会助成	100,000円
・在宅介護者家族の会助成	50,000円

(6) 交通遺児援護事業

・交通遺児入学祝金・見舞金の支給	150,000円
・交通遺児等育英奨学金支給	780,000円

【共同募金運動】

(1) 赤い羽根共同募金運動

この運動は、毎年多くのボランティアの方々に支えられ、平成30年度は次のとおり募金をいただいた。これらの募金は、民間社会福祉事業の充実向上、健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりのための事業に活用されている。

- ・実施期間 10月1日 ～ 12月31日
- ・協力団体 町内会(区長会)、民生委員児童委員協議会、他諸団体

区 分	目 標 額	実 績 額
町内募金	14,700,000円	14,561,360円
篤志・法人募金	7,230,000円	6,035,700円
街頭募金他	1,700,000円	1,790,631円
合 計	23,630,000円	22,387,691円

(前年同期 22,480,102円)

(2) 歳末たすけあい運動

この運動は、赤い羽根共同募金運動の一環として行われるもので、「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、低所得世帯等が安心して新年を迎えることができるよう配分を行った。

<配分結果>

- ・低所得世帯（生活保護世帯は除く）

514世帯	1,364人	8,278,000円
ねたきり	20人	認知症 7人
重度心身障がい児(者)	45人	両親のいない児童 10人

- ・福祉施設利用者

14カ所	72人	585,000円
合 計		8,863,000円

<募金結果>

・会社職域関係	635,615円
・団体関係	590,934円
・学校関係	128,068円
・個人	153,706円
・たすけあい袋	7,791,994円
合 計	9,300,317円

【生活困窮者自立相談支援事業】

フィランセ東館1階に生活課題を抱えた市民からの相談に早期かつ包括的に応ずるくらし・しごと相談窓口を開設。3名の相談員（社会福祉士）を配置し相談者の抱えている問題を適切に評価・分析し、その課題を踏まえた「自立支援計画」を相談者本人と共に作成して、相談者の生活の立て直しに向けた支援を行った。事業の周知に関して、関係機関や事業所の他にもスーパーや商業施設等に名刺サイズのミニチラシの設置についてご協力をいただき市民への情報提供を行った。

また、市が新たに取り組み始めたユニバーサル就労支援事業の初期相談の窓口としてユニバーサル就労支援センターへ相談を繋ぎ、併せて同センターと連携しながら相談者の就労支援を行った。

<相談状況>

相談件数 1, 576件

<内訳>	男性	1, 145件	来所	606件
	女性	431件	電話	655件
	不明	0件	メール	16件
			訪問	172件
			同行	127件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談者数（実人数）	65	70	80	84	68	80	84	66	54	67	52	71	841	762
新規相談者数	30	33	28	29	25	35	41	29	22	21	15	31	339	327

相 談 内 容	件 数	支 援 内 容	件 数
病気や健康、障害のこと	308	食料支援	216
家賃やローンの支払いのこと	254	住居確保給付金	8
仕事探し、就職について	702	一時生活支援	21
家族との関係について	127	福祉資金貸付	65
ひきこもり・不登校	33	就労支援	163
住まいについて	223	就労準備支援	19
税金や公共料金等の支払について	255	学習支援	1
仕事上の不安やトラブル	132	生活保護	65
子育てのこと	15	緊急援護費支給	14
DV・虐待のこと	10	他法紹介	138
収入・生活費のこと	598	家計相談支援	70
債務について	151	相談のみ	900
介護のこと	31	マザーズコーナーへのつながり	45
地域との関係について	19	ユニバーサル就労へのつながり	69
食べるものがない	264	合 計	1, 794
その他	246		
合 計	3, 368		

※重複回答あり

【貸付事業】

（１）高額療養費等資金貸付事業

国保加入者で高額な医療費の支払に困っている方に、高額療養費等資金の貸付を行った。

・貸付	209件	17,172,655円
<内訳>		
1. 高額療養費	138件	15,736,245円
2. 重度医療費	64件	1,363,520円
3. 母子医療費	7件	72,890円

(2) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯の生活意欲を助長し、その自立更生を図ることを目的に県社協の審査を経て生活福祉資金等の貸付を行った。

・教育支援資金	7件	4,618,000円
・福祉資金	2件	212,183円
・総合支援資金生活支援費	1件	110,566円
合 計	10件	4,940,749円

(3) 小口資金貸付事業

低所得世帯を対象に、一時的に必要な生活資金を5万円を限度に無利子にて貸付け、世帯の自立支援を行った。

・貸付	17件	564,000円
-----	-----	----------

行政と連携し、新たに決定した生活保護世帯に対し生活保護費初回支給日までの生活費等の資金を5万円を限度に無利子にて貸付、切れ目のない支援を行った。

・貸付	42件	1,542,000円
-----	-----	------------

【日常生活自立支援事業】

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用の援助や日常生活に必要なお金の出し入れ、福祉サービスの利用料・公共料金などの支払いを支援した。専門員3名 生活支援員40名で対応。

- ・利用対象 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自身の判断能力に不安のある方
- ・援助内容 福祉サービスに関する情報提供、利用手続きの代行
日常的な金銭管理の支援、重要書類等の預かり

区 分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計	前年
初回相談件数	5	6	5	13	29	44
契約件数	15	26	14	10	65	69
相談援助件数	1,906	2,440	1,652	1,223	7,221	7,217

【地域福祉活動計画による平成30年度の主な取組目標】

①利用契約件数 85件

【実績】

①利用契約件数 65件

内訳	認知症高齢者	15件	知的障害者	26件
	精神障害者	14件	その他	10件

【成年後見支援センター事業】

(1) 成年後見事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として設立された成年後見支援センターで市民等の相談を受けた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	18	19	14	8	19	17	17	17	17	20	16	21	203	141

【地域福祉活動計画による平成30年度の主な取組目標】

①相談件数 220件

【実績】

①相談件数 203件

<成年後見制度講演会>

- ・日 時 11月10日(土)
- ・講 師 弁護士法人 立石塩谷法律事務所 塩谷知一氏
- ・演 題 「最期まで自分らしく生きるために」
～あなたと大切な人を守る後見制度と遺言・相続～
- ・参加者 171名

<普及啓発>

	内 容	活動先並びに件数
成年後見制度に関する 広報・啓発	各種団体主催の後見制度に関する 勉強会、研修での講演 広報誌、ラジオによる取材	介護専門員基礎研修、 ふれあい・いきいきサロン 他 計9件 ラジオエフ 他 計2件
市民後見人養成研修等講 師	県内の各市町主催の市民後見人養 成研修等での講師	湖西市、三島市、静岡市 熱海市 他 計8件
関係機関との意見交換会	家裁と包括との意見交換会	家裁富士支部
視察受入	磐田市・磐田市社協視察受入	視察7名

(2) 市民後見事業

＜市民後見人の研鑽＞

1～3回の市民後見人候補者37名が日常生活自立支援事業生活支援員として活動を行いながら身上監護の実務経験を積んでいる。

センターはその指導助言を行い研鑽をサポートした。

＜市民後見人候補者継続研修＞

第1～3回市民後見人候補者37名が日常生活自立支援事業の生活支援員となり、引き続き研鑽を積んで行くことになり、そのフォローアップ、モチベーション維持のために継続研修を開催した。

開催日：5月・8月・11月・2月開催（全4回）

内 容：任意後見制度、高齢者の疾患と特徴～変化と気づき～
ケース記録の書き方のポイント～記録の重要性～
市民後見人に係る現状報告

＜市民後見人名簿登録選考会議＞

第2回市民後見人養成研修修了者の内希望者12名を選考した結果12名を名簿登録した。

＜市民後見人受任調整会議＞

上記名簿登録者の中から適切な者1名を推薦した。

＜市民後見人誕生＞

11月29日富士市で2人目となる市民後見人（市民保佐人）が選任された。

＜監督人＞

市民後見人2名の監督人として、後見事務の監督をした。

【法人後見事業】

＜成年後見等審査委員会＞

・日 時 6月11日、7月30日、10月10日、11月29日

＜法人後見人受任＞

家庭裁判所、行政と協議を重ね、市民後見を見据えた法人後見を6件新たに受任した。合計6件受任中（累計8件）。

【地域福祉活動計画による平成30年度の主な取組目標】

①受任件数 4件

【実績】

①受任件数 6件

【介護サービス事業】

（１）介護保険関連事業

①居宅介護支援事業

- ・利用者延べ人数 3,690 人
(事業対象者…125 人 要支援…971 人 要介護…2,594 人)
- ・利用者内訳 事業対象者…125 人(3.4%) 要支援 1 …378 人(10.2%)
要支援 2 … 593 人(16.1%) 要介護 1 …907 人(24.5%)
要介護 2 … 788 人(21.4%) 要介護 3 …473 人(12.8%)
要介護 4 … 247 人(6.7%) 要介護 5 …179 人(4.9%)
- ・介護認定調査 250 件 (富士市…177 件、富士市以外…42 件、県外…31 件)

②訪問介護事業

- ・利用者訪問延べ回数 9,571 回
(事業対象者…192 回 要支援…1,377 回 要介護…8,002 回)
- ・利用者内訳 事業対象者…192 回(2.0%) 要支援 1 … 339 回(3.5%)
要支援 2 …1,038 回(10.8%) 要介護 1 …1,708 回(17.8%)
要介護 2 …1,664 回(17.4%) 要介護 3 …1,662 回(17.4%)
要介護 4 … 922 回(9.6%) 要介護 5 …2,046 回(21.4%)

③通所介護事業（富士川デイサービスセンター）

- ・開所日数 308 日
- ・利用延べ人数 13,083 人
(事業対象者…156 人 要支援…1,068 人 要介護…11,859 人)
- ・利用者内訳 事業対象者…156 人(1.2%) 要支援 1 … 184 人(1.4%)
要支援 2 … 884 人(6.8%) 要介護 1 …5,644 人(43.1%)
要介護 2 …3,519 人(26.9%) 要介護 3 …1,579 人(12.1%)
要介護 4 … 637 人(4.9%) 要介護 5 … 480 人(3.7%)

（２）障害福祉サービス事業

①居宅介護

- ・利用者数 31 人
- ・延派遣回数 4,380 回
- ・延派遣時間数 4,796 時間 50 分

②同行援護

- ・利用者数 26 人
- ・延派遣回数 1,003 回
- ・延派遣時間数 3,694 時間 50 分

③移動支援

- ・利用者数 6 人
- ・延派遣回数 232 回
- ・延派遣時間数 345 時間 15 分

【障害者就労支援施設・生活介護事業所の運営】

(1) 障害者就労支援施設・生活介護事業所の運営

障害者就労支援施設・生活介護事業所を運営し、利用者への知識及び能力等の向上の為に必要な支援や創作的活動又は生産活動の機会の提供を行った。竹の子、ふじひろみでも送迎サービスを開始し、ひめな、ふじばら作業所、まつぼっくり、鷹身工芸社、吉原つくし（生活介護）も合わせ、7事業所で送迎サービスを実施している。また、職員の資質向上を目的とし、研修を実施した。

- ・利用者人数 153名 男性 83名 女性 70名
- ・平均年齢 約41歳 最高齢 71歳 最年少 19歳
- ・月平均工賃 15,701円
- ・最高事業所 34,063円
- ・最低事業所 9,801円（生活介護以外の事業所）

単独型事業所（指定就労継続支援（B型）事業所） *利用者数は3月31日現在

事業所名	開設年月日	利用者数	主な自主製品等
竹の子	S63.4.1	20人	手作り石けん ビーズ製品
ひめな	H8.10.1	16人	縫製品 苔玉 しいたけっ粉販売
ふれあいショップ あゆみ	H1.10.1	10人	手作りパン ラスク各種
ふじひろみ	S53.6.1	11人	ぼかし ぷくぷく（入浴剤） 縫製品

市民ふれあいバンク	S58. 8. 1	1 7 人	手作り石けん リサイクル品回収販売
鷹身工芸社	S59. 8. 1	1 8 人	トールペイント 花の苗作り ぼかし 縫製品
ふじばら作業所	H1. 4. 1	1 8 人	ふじ山キャンドル ぼかし 陶芸品 ボタニカルキャンドル
まつぼっくり	H13. 4. 1	1 4 人	手作り洋菓子（クッキー等）

多機能型事業所（指定就労継続支援（B型）事業所及び指定生活介護事業所）

事業所名	開設年月日	利用者数	主な自主製品等
吉原つくし	<継続> S55. 4. 7 <生活介護> H23. 5. 10	<継続> 1 9 人 <生活介護> 1 0 人 計 2 9 人	手染め製品 手織りマフラー 名刺印刷 しおり

・ 障害者就労支援施設・生活介護事業所職員全体研修

7月 5日（木）55人 8月 2日（木）56人

9月 27日（木）58人 11月 15日（木）54人

1月 24日（木）56人 2月 23日（土）55人（+他事業所50人）

（２）特定相談支援事業

障害者就労支援施設等の利用者や、その家族が障害福祉サービスを適切に利用する為のサービス等利用計画作成をはじめとした相談支援事業を実施した。

【地域福祉活動計画による平成30年度の主な取組目標】

①契約件数 210件

【実績】

①契約件数 220件

内訳 社協障害者就労支援施設・生活介護事業所利用者 151人
その他（社協居宅介護利用者・他事業所利用者） 69人

【社会福祉センターの運営】

富士市からの指定管理者として社会福祉センター（広見荘、田子浦荘、東部市民プラザ、鷹岡市民プラザ）の管理を行い、高齢者をはじめ市民の健康増進や憩いの場として提供した。

項 目	広見荘	田子浦荘	東部市民 プラザ	鷹岡市民 プラザ	合 計	前 年
高 齢 者	36,217人	38,941人	31,456人	26,087人	132,701人	133,253人
障がい者	194人	320人	330人	280人	1,124人	1,446人
児 童	286人	2人	0人	2人	290人	453人
そ の 他	374人	126人	5,423人	13,450人	19,373人	19,188人
合 計	37,071人	39,389人	37,209人	39,819人	153,488人	154,340人
開 館 日 数	281日	281日	281日	281日	281日	281日
1日平均利用者数	132人	140人	132人	142人	546人	549人

【生きがいデイサービス事業】

（１）生きがいデイサービス

在宅で閉じこもりがちな高齢者を対象に、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所	健康クラブ	（広見荘 毎週水・金）
	元気クラブ	（田子浦荘 毎週火・木）
	あったかクラブ	（鷹岡市民プラザ 毎週木・土）
	うららかクラブ	（富士川地域福祉センター 毎週火・水・木・金）
・開所日数	健康クラブ	97日
	元気クラブ	93日
	あったかクラブ	101日
	うららかクラブ	201日
・延利用者数	健康クラブ	805人
	元気クラブ	880人
	あったかクラブ	765人
	うららかクラブ	1,176人

(2) 健康づくりデイサービス

要支援状態等にある高齢者を対象として、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に、介護予防サービス計画または介護予防ケアマネジメントの内容に沿って、生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所	健康クラブ	(広見荘 毎週水・金)
	元気クラブ	(田子浦荘 毎週火・木)
	あったかクラブ	(鷹岡市民プラザ 毎週木・土)
	うららかクラブ	(富士川地域福祉センター 毎週火・水・木・金)
・開所日数	健康クラブ	97日
	元気クラブ	93日
	あったかクラブ	101日
	うららかクラブ	201日
・延利用者数	健康クラブ	135人
	元気クラブ	149人
	あったかクラブ	13人
	うららかクラブ	1,098人

【その他の事業】

(1) 社協災害対策事業

①社協災害対策本部開設訓練

非常時対応に備えて、「災害ボランティア支援本部開設訓練」と並行して、社協災害対策本部の開設訓練を行った。また、関係機関と共に連携し、一日も早い市民生活の復旧と、そのために必要な支援とサービスが提供できる社協の体制づくりを模索した。

・実施日	1月19日(土)、20日(日)
・参加職員	社協事務局、介護・障害サービス事業所、
・内容	職員安否確認(安否確認メールシステムによる確認)、 出先機関の被害状況確認と職員配置シミュレーション、 富士市との情報交換(MCA無線)

②BCP(事業継続計画)の策定

大規模災害が発生した際に、事業の速やかな再開・継続が行えるよう、事業継続計画の策定に着手し、ワークショップを開催した。

- ・開催日 6月6日（水）、10月15日（月）、1月7日（月）
- ・内 容 各出先事業所のBCPについて、グループワークを通して現場職員の意見を反映させながら、検討・作成・修正を行った。

（２）広島県呉市被災地支援

7月の西日本豪雨災害に伴い、県内市町社協では広島県呉市への職員派遣を行った。富士市社協においても、7月26日（木）から9月29日（土）の期間に職員8名を派遣し、災害ボランティアセンター等の運営を支援した。

（３）実習受入

社会福祉向上と福祉教育の一環として、学生等を対象に福祉実習の受入を行った。

- ・実習受入数 43人

（内訳）社会福祉士相談援助実習	1人
看護師実習	39人
事務局職場実習	2人
公立高等学校教員初任者実習	1人

（４）視察受入

当会の実施している諸事業について、概要説明や施設見学を行った。

- ・視察等受入 5件

9月12日（水）	内閣府（子ども・子育て本部） 「ハッピネスFujiの概要について」
10月17日（水）	一般財団法人静岡経済研究所 「ハッピネスFujiの概要について」
11月12日（月）	都留市社会福祉協議会・都留市ボランティア連絡会 「富士市ボランティアセンターの概要説明および富士市のボランティア活動の現状」
11月20日（火）	蒲郡市社会福祉協議会 「こどもの居場所づくりやこども食堂への支援概要」
11月28日（水）	磐田市社会福祉協議会 「市民後見人の養成について」
- ・市公共施設見学受入 1件

(5) 富士市介護保険事業者連絡協議会の支援

介護保険事業者が相互の連携と、サービスの総合的な質の向上を行うことを目的に各種研修会を実施し、その事務局役割を担っている。

(6) 人事評価制度の導入

本年度より新たに人事評価に関する「育成面談制度」を開始。業績評価及び能力評価シートを作成し、上司との面談を通して適正な目標を設定し、モチベーションを高め、職員の処遇改善及び経営基盤の安定を目指した。

(7) 法人設立50周年記念事業の開催準備

2020年度に法人設立50周年を迎えるに当たり、記念式典の開催及び記念誌の発行等、記念事業の企画を行うため、実行委員会を組織、開催し、準備を始めた。

【社協会費・寄附金の募集】

(1) 社協会費

6月を社協会員募集月間に定め、各世帯よりいただく普通会費、篤志家よりいただく特別会費、福祉団体及び福祉施設・福祉事業所から団体施設会費として、ご協力をいただいた。

- ・協力団体（敬称略） 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体
- ・実施状況

区 分	金 額	実績額
普通会費	各世帯 300円	23,739,600円
特別会費	個人・企業・法人 1000円以上	6,358,000円
団体施設会費	福祉施設・団体 1000円以上	355,000円
合 計		30,452,600円

(前年同期 30,478,350円)